

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ラウレアiwakura		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	2
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	2	適切な配置数は確保しております。 送迎変更等の対応によって不足にならないよう留意しております。	引き続き、支援や送迎時に職員間の連携の強化を図り、どのような場合でも適切な人員確保ができるように努めてまいります。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	1	お子様に伝わりやすいよう、視覚支援として掲示物を工夫しております。ルールやお約束も言葉による説明だけでなくイラストを用いた掲示物で伝えております。踏み台なども用意しております。	引き続き、お子様が過ごしやすい環境を保つことができるよう継続して取り組んでまいります。また、保護者様への周知にも力を入れてまいります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		毎日の清掃・消毒業務やおもちゃの消毒作業、換気を通して生活空間を清潔に保つことができています。	引き続き、毎日の清掃や消毒等でお子様過ごしやすい環境を保つことができるよう継続して取り組んでまいります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	3	必要に応じて個別のスペースを確保することができている部屋を準備しております。より有意義に活用するために活用の見直しが必要だと感じています。	個別の部屋の使用がしやすいように、物を少なくし、配置も変更しました。今後も必要に応じて個別の部屋を使った対応を行ってまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8		情報共有やフィードバックを大切に、定期的な目標再設定などPDCAサイクルに基づいた支援ができております。	引き続き、情報共有やフィードバックを大切に目標設定を行い、PDCAサイクルに基づいた支援を行ってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		アンケートや日々の送迎時の保護者様のご意見をもとに、日頃から見直しを行っております。	引き続き、保護者様からのご意見を大切に、反映させていくことでより良い施設作りを努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		日々の朝礼・終礼時や、月に一度の月例会議で意見交換を行っております。 また、個別の面談の機会も設けられているので意見を交換する機会がございます。	引き続き、定期的な面談等を通して、職員の意見を聞く場を設け、全職員の意見を大切にまいります。また、働きやすい環境作りに努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	7	現段階では、第三者による外部評価は行っていません。	今後前向きに検討してまいります。 外部からの評価も大切にしてより良い施設作りをしてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		定期的に法人内外で職員のスキルアップを図る研修が行われております。	今後も継続し、職員のスキルアップのため、積極的に研修の開催や参加をしてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		適切に支援プログラムを作成し、ホームページで公表しております。	今後も適切に支援プログラムを作成・公表してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8		お子様一人ひとりと向き合い、アセスメントやモニタリングを通じて意向に沿った計画を作成しております。	引き続き、適切なアセスメントのもと、お子様と保護者様のニーズを反映した計画作成をしてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8		児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が共通理解のもとでお客様の最善の利益を最優先に考慮して計画を作成しております。	今後も児童発達支援管理責任者だけでなく、全職員が共通理解のもとで、お客様の最善の利益を考慮して計画を作成してまいります。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画を職員間で共有し、共通理解をもってチームで支援を行っております。	今後も児童発達支援管理責任者を中心に計画等の情報共有をし、チームで支援を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日頃より、標準化されたツールや日々の行動観察など様々なツールを用いてアセスメントをしております。	今後は、さらに多岐にわたるツールを用いた支援を検討してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画を作成し、お子様一人ひとりに合った支援内容を設定しております。	今後もねらい及び支援内容を踏まえながら、具体的な支援内容の設定を継続して行ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動プログラムが固定化されないよう、複数の職員による話し合いを通して、プログラムの立案を行っております。	今後も様々な意見を反映させることができるよう、チームによるプログラムの立案を行ってまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動内容を週ごとや月ごとで変更したり、季節行事を積極的に取り入れるなどプログラムが固定化しないように工夫して作成しております。	今後も、活動プログラムが固定化することがないように工夫して行ってまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	お子様の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ対応しております。	場面によって個別活動が難しい状況もみられるため、今後改善してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		必ず朝礼を実施し、お子様の情報共有やモニタリング実施報告、その日の役割分担の確認を行っております。	日々の支援の質を向上させるため、今後も情報共有や役割分担の確認を継続して行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	支援後に終礼を実施しており、公休職員にも共有できるように、必ず翌日の朝礼にも共有を行っております。	日々の支援の質を向上させるため、今後も支援の振り返りを継続して行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		終礼議事録等でお子様の様子を当日中に記録し、日々の支援に繋げております。	今後も、支援の記録を取り日々の支援の向上と改善に繋げてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングを通して保護者様の聞き取りをもとに計画の見直しをしております。また、必要とされるタイミングでは個別でモニタリングを実施し、都度見直しを行っております。	今後も、定期的なモニタリング時や必要に応じて、適切に計画の見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っております。	今後も継続して行ってまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	レクリエーションイベントなどを通して、お子様主体の話し合いの場を設けております。	お子様の自己決定力を育むために、今後も継続して自己決定を促す支援を行ってまいります。
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		関係機関との連携は、施設のことやお子様のことをよく理解した者が行っております。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	協力医療機関や各自治体等と協力しながら支援をおこなっております。	今後も継続して地域との連携を行ってまいります。
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		本人を取り巻く関係機関と連携をとって支援を行っております。送迎時等で、学校の先生方とも情報共有を行っております。	日々の支援の質を向上させるため、今後も情報共有を継続して行ってまいります。
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	保護者様から情報共有をいただき、相互理解に努めております。	就学前に利用していた園等のつながりについて、よりよい支援を目指すために強化してまいります。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7	現段階では学校卒業から障害福祉サービス事業所等への移行を支援しておりません。	今後機会があった際には、情報共有に力を入れてまいります。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	相談支援事業所の相談員との連携を密に取ることでお子様の様子や情報を共有しております。地域機関との連携はもう少し強める余地があるように感じます。	今後はさらに支援の質の向上のため、児童発達支援センターなどの地域機関と連携を密にとり、必要に応じて助言等を参考に支援に反映してまいります。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	外出イベント等で地域のお子様と関わる機会がある際には、積極的に関わりを持つようにはしています。	現状、放課後児童クラブとの交流は実施していないため今後検討してまいります。
33		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	市の協議会などに可能な限り、積極的に参加をさせていただいております。	今後も地域との連携を強めるため、積極的に参加してまいります。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日頃から送迎時の申し送りを通して、保護者様とお子様の様子を共有し、共通理解をもって支援を行っています。	引き続き保護者様との連携を大切に支援を行ってまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	家族支援等で保護者様の困りごとなどを聞き取り、支援に繋げております。	ご家族が参加できる研修等は現状行っていないため、今後前向きに検討してまいります。何かお困りごとがございましたらいつでもお声がけください。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に資料を用いて丁寧に説明を行っております。	今後も継続して行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングを実施しております。その際に、保護者様のニーズをお伺いし、職員で協議したうえで計画作成や支援を行っています。	今後も継続してお子様や保護者様のニーズやご要望を尊重した計画作成を行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画を説明したうえで、保護者様に同意をいただいております。	放課後等デイサービス計画の質を向上させるため、今後も継続して行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々、保護者様からのお悩み等には迅速かつ適切に対応しております。	今後も満足してご利用いただけるよう継続して行ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	季節の大型行事でご兄弟の参加を受け入れるなど、兄弟交流で交流できる場を設けております。	今後、ご要望がありましたら保護者様同士の交流の場を設けられるよう検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日々、お子様や保護者様からのお悩みやご意見等をいただいた際には迅速かつ適切に対応しております。	今後も満足してご利用いただけるよう継続して行ってまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページや定期的なSNS更新を通して、施設理念や日々の活動内容を保護者様やお子様へ伝えております。	今後も満足してご利用いただけるよう、SNS更新等に力を入れ、継続して行ってまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いに関しては職員全体で十分に注意して行っております。	今後も個人情報を漏洩させることがないよう、注意して取り扱いを行ってまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		言葉遣いに考慮したり、視覚的に伝えるなど伝え方を工夫して対応しております。	今後もお子様に満足してご利用いただけるよう寄り添った支援を継続してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	現状、地域住民との関わりをもてる運営を行っておりません。	今後は地域住民を招待するなど、関わりを持つことができるよう前向きに検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、研修や契約時に周知したうえで定期的な訓練を実施することができております。	今後も、マニュアルの改訂を随時行いながら安全な施設運営ができるよう訓練等を継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、定期的にBCP訓練を実施することで災害時や緊急時に迅速に対応できるように備えております。	今後も、安全かつ緊急時にも適切に施設運営ができるよう継続して行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時にアセスメントを行い、事前に服薬の情報を職員間で共有して対応ができるようにしております。	今後も、安全に施設運営ができるよう事前の情報の聞き取りや共有を継続して行ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	契約時にアセスメントを行い、事前にアレルギー情報や、対応方法を職員間で共有して対応できるようにしております。	今後も、安全に施設運営ができるよう継続して行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的な安全点検を実施し、日々の支援を安全に行うことができるようにしております。	今後も、安全に施設運営ができるよう定期的な安全点検を行ってまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	お子様の安全確保を最優先に、おこなっております。	今後は、安全確保を継続したうえで、ご家族様等への周知についても力を入れて行っていくことができるよう改善してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが起きた際には全職員で共有し、再発防止策についての話し合いを行っております。	今後も安全な施設運営で、ヒヤリハットが発生することがないように継続して行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、定期的な職員向けの虐待防止研修やアンケートを実施することで日頃から虐待防止についての意識を高めています。	今後も安全に施設運営ができるよう、虐待研修やアンケート等を継続して行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	全職員が研修を通して、身体拘束についての理解をもって支援を行っております。	今後も支援の中で行動制限や身体拘束が必要とされる場面について、職員共通理解を得たうえで施設運営を行えるよう、取り組んでまいります。また引き続き、保護者様へ十分な説明を行ってまいります。	